

QSS-3300-3301-3302-3501-3502

QSS-3501PLUS-3502PLUS タンク液の調液方法【MPC仕様共通】

1. 処理薬品の準備

処理薬品 (MPC-22)	P-1R (CD)	P-2R (BF)	P-3R (STB)	P-1S
必要箱数	1箱	1箱	1箱	—
使用本数	1本	1本	3本	2本

2. 調液割合

母液タンク容量		P-1 (CD)	P-2 (BF)	P-3 (STB)
		13.6 L	13.9 L	26.5 L
調液割合	補充液	5.5 L	8.4 L	26.5 L
	スターター	1,500 ml	—	—
	水	6.6 L	5.5 L	—

3. タンク液の調液

- * 各母液タンクから処理ラックを抜き出す時、液が他の母液タンクに入らないよう十分注意してください。
- * 調液に使用する容器(バケツ)は、CD用とその他用を分けてください。

- P-1
(CD)
1. 容量 10L 以上の清潔な容器に 15~40℃ の水を 8L 用意します。
 2. P-1R を1本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 3. 2. で作った液(P-1R 補充液)を CDサブタンクから 5.5L 注入します。
残った液は補充タンクに入れてください。(約 4.5 L)
 4. P-1S (スターター) 1,500mLを CDサブタンクから注入します。
 5. 15~40℃ の水をオーバーフローするまで CDサブタンクから注入します。
(約 6.6 L)

- P-2
(BF)
1. 容量 10L 以上の清潔な容器に 15~40℃ の水を 5L 用意します。
 2. P-2R を1本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 3. 2. で作った液(P-2R 補充液)を BFサブタンクから 8.4L 注入します。
残った液は補充タンクに入れてください。(約1.6 L)
 4. 15~40℃ の水をオーバーフローするまで BFサブタンクから注入します。
(約 5.5 L)

- P-3 (STB)
1. 容量 20L 以上の清潔な容器に 15～40℃ の水を 19.8L 用意します。
 2. P-3R を2本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 3. 2. で作った液(P-3R 補充液)20L を 各STBサブタンクから全量注入します。
 4. 同じ容器に 15～40℃ の水を 9.9L 用意します。
 5. P3-R を1本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 6. 5. で作った液(P-3R 補充液)を 各STBサブタンクからオーバーフローするまで注入します。残った液は補充タンクに入れてください。(約 3.5 L)

*サブタンクとは、ケミカルフィルターが装着されている箇所を指します。
ケミカルフィルターを抜き、そこから薬液を注入してください。

【 参考 】 補充液 作成方法

処理薬品名称	水 (15～40℃)	薬品	仕上り量
MPC-22 P-1R (CD)	8 L	P-1R 1個	10 L
MPC-22 P-2R (BF)	5 L	P-2R 1個	10 L
MPC-22 P-3R (STB)	9.9 L	P-3R 1個	10 L

【 参考 】 1 L あたりのタンク液 調液割合

処理薬品名称	補充液	スターター	水	仕上り量
MPC-22 P-1 (CD)	400 mL	110 mL	490 mL	1 L
MPC-22 P-2 (BF)	600 mL	—	400 mL	1 L
MPC-22 P-3 (STB)	1000 mL	—	—	1 L